伯剌西爾時報

發行所 伯西剌爾時報社 聖市ファンダメ街一九六 電話七—四六七〇
社長 黒石清作
購讀料 一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓

ユーゴー今や戰時態勢 英を賴り獨逸と決戰か

國王既に總動員令布告發す

【紐育五日同盟】獨、ユーゴー關係は愈々窮迫を告げ、ユーゴー政府も四日に至り、遂に外交折衝による危機打開の希望を捨てたもの、如く、頻りに戰備を急ぎユーゴー全國は今や殆んど戰時狀態に入つたと傳へられる、即ち五日曉迄に紐育に達したベオグラード電報を綜合すれば、左の通り

一、國王ペタール二世は、去る一日、總動員の布告を發した旨、四日發表

一、獨伊人の引揚に續き、ブルガリヤ人も四日に宅り引揚を開始した

頻りに外交交渉が進められてゐる模樣で、一說によれば、或は三國援助條約の成立を見るのではないかとも豫想される

獨軍侵入路に 數段構えの嚴重防備

一、ユーゴー全國の鐵道は軍用のため徵發され、一般旅客の運輸は一切停止された

一、パウル攝政下野の後、寧位となつてゐた陸軍總司令にはペタール・ボヨヴイッチ將軍が任命され、今軍の指揮に當つてゐる

一、獨逸の親獨態度から去就を疑はれてたクロアート人も新政府支持に決し、その領袖者たるマチエック農民黨は四日正式に副首相に就任した

一、國境の要衝、鐵道、橋梁などには總て警衛が出動してゐると傳へられるが、獨軍侵入の場合には、その力はバルメル峽谷に向ふものとの想定の下に、南方面には數段構えの陣地を築き、特に嚴重な防備が施されてゐる

一、ユーゴー兩國は四日午後四時半開戰の長きに亘り緊急閣議を開いたが、政府は五日、外交方針の發表を行つてその態度を闡明するものと見られる

一、英國の指導下にユーゴー、ギリシヤ、トルコ三國間に

ユーゴーへ 米が絕大援助行はん

ハル長官聲明

【紐育五日同盟】ハル長官は、ユーゴースラビヤに對し、如何なる方法を以て援助せんかと考慮中の折柄、昨日當市駐在ユーゴー公使は米政府へ用質、ユーゴーへの物資援助を依賴した、ハル長官は右依賴に對シモヴイッチ・ユ國首相と米國は以前から親密であつた關係上、米、ユ兩國は固き提携をなすべきであり、米國は先に行つた米ユ國資金凍結の撤廢を取消し出來る丈援助すると聲明した

ローマ法皇 松岡會見の意義甚大

【東京五日同盟】三日の朝日社説は"日伊提携の意義"と題し、我が亞細亞新秩序說と新伊太利の理想との共通性が我外相の訪伊と云ふ未曾有の機會に於て、更に確認された事はこゝに言ふまでもあるまい、東亞及び歐洲新秩序は今後とても多くの狂瀾曲折をまぬかれないのは當然である

なほ松岡外相は、カトリック教界の元首たる法皇と會見した、此の會見は第公式のものと謂はれるが、東亞の新秩序とカトリック教界との關係につき意見の交換を行ぐるのは當然である

ユーゴー親獨派農民黨 寢返り打ち新政府加擔

黨首・副首相に就任

【ベルグラード四日同盟】親獨派としてその去就を注視されてゐたクロアート農民黨首領マチエックは遂に シモヴイッチ新政府に協力する事となり、四日午前ベルグラードに到着副首相に就任した、尙はマチエック副首相の就任に依り事實上ユーゴー新內閣は、同日直ちに閣議を開催し、新下の事態を收拾すべき緊急對策を樹立した

英對獨武器援助 到底間に合はない "だが數字はこの通り"

米當局 武器生産計畫發表

【ワシントン四日同盟】米政府當局は武器貸與法に基く援英武器生産計畫の數字を發表した、英國の危機切迫は四日父ルーズベルト大統領に對し、差し當り實上の援英を間に合す事が出來ない米國は斯る計畫數字を並べて反樞軸陣營全體の士氣を鼓舞せんとしてゐるものである、發表數字次の通り

一、飛行機一万五千臺

右は主として爆撃機で內一万三千台を英國空軍、殘り二千台を英海軍へ供給

一、商船三百二十隻

英國の報文に依り目下米國內で建造中の六十隻の商船と同程度のものを補充する

飛行機五千台の一部分は米國陸軍用に生産中のものと補充する、而して右に關し、米國當局は次の如き說明を加へた

英國としては米國が右の對英援助計畫を明年七月までに完成して與へる事を期待してゐるが、これには多大の困難が伴ふ、米陸海軍ならびに英國の要求を調和せねばならぬ、即ち米國自身の國防上、海軍艦艇を更に讓渡する事は米國自身の國防上宜しくない上、艦艇等を米國で引受けぬ以上、強硬な對英援助は頗し難い

英國を滿足してる丈に今や英國の對米軍需品要求は米國內でも大問題となつてゐる、獨り英米よりユーゴーへ送られる武器彈藥、食糧、軍需品等の海上輸送經路は獨逸の潛水艦の脅威であらう、帝國が若しこれを嚴禁してその海運を出動せしむることもなれば、米國の夢幻的艦隊攻撃の期待も想像され、事態は愈々危機へ接近することゝなる、ユーゴーそのものは何れへでも解體國であるが、如上の意味に於て同國の動きは世界戰爭終結の胎芽を含むものとも見はれる

二一の足踏む 米の英商船護送問題

米政府首腦者間に意見對立

【紐育四日同盟】商船護送の問題に關しワシントン及びニューヨークの情報を綜合する米政府はその態度を決しかねてゐるのが眞相であるらしく、大體政府部內でも此の問題に就ては意見が二派に分れてゐる場合である、即ち米海軍艦艇を以て商船護送を開始すべしとする一派はノックス海軍長官を中心とする一派で、米海軍艦艇を更に讓渡する事は米國自身の國防上宜しくない上、商船護送を米國で引受けぬ以上、強硬な對英援助は頗し難いと云ふ所謂る穩健的な立場を採るものであり、他の一派は商船護送に伴ふ危險の大なる事を指摘し、米海軍艦艇を更に英國に讓渡して護送の任務を英國自身に委ねる方が適當策であるとの立場を固守するもので、目下の處ルーズベルト大統領自身もこの護送反對派を支持してゐると傳はれる、從つて一兩日以來大統領がノックス海軍長官、スターク作戰部長等と協議を續けてゐるのも海軍艦艇供與が中心の問題となつてをり、更に英國に對し艦艇を供與する場合は新世界大戰當時建造された驅逐艦七十四隻及びオマハ級巡洋艦十隻の中から七隻が選ばれるものと見られる

香港行の英司令官 再びマニラへ引返す

英米蘭現地會談行はれん

【紐育四日同盟】マニラよりの情報に依れば、今日香港へ向け出發したボバム英極東軍總司令官は、八日再びマニラを訪問する豫定と聽るが、七日には目下米國より由米比の途にあるクレフエンス和蘭外相一行も同地に到着するので、一行の滯在中極東情勢に關する英米蘭現地當局の會談が何等かの形式で行はれるものと云はれる、因にオランダ外相はケソン大統領と會見し、同樣の會談を行ふ筈である

新政府樹立 スペイン紀念祝賀行ふ

【マドリッド三日發】（ステファアニー電）二日はフランコ將軍によるスペイン新政府樹立第二周年に當るので、全國擧げて紀念祝賀會が行はれた

松岡外相 ヒ總統と長時間會談

五日モスクワへ向ふ

【柏林四日發】（UO電）松岡外相は本日午前當市に到着し宿舍で少憩の後、午後六時リッベントロップ外相と共にヒトラー總統訪問、長時間會談を行つたが、五日は外相の案內にて軍需品武器工場の視察を行つた上、モスクワへ向ひ、それより日本へ歸る豫定である

パナマ共和國が日本に非友的態度

帝國政府猛省促さん

【東京五日同盟】中米パナマ共和國が最近外國人會館撤廢に依り、在留邦人に對し、厳重的態度を執つたことに關し、在留邦人の婦女子引揚げを余儀なくされた事、一部新聞に報道されたが、右に就ては、四日午後遂に我が外務省には何等公表はないが、帝國政府は、パナマ當局に對し近日の對日態度に鑑み、鬼角非友的なるにかんがみ、飽迄その猛省を促すと共に、帝國政府今後の對應を嚴重監視し、萬全の對策を講ずる事となつた

産業團體統制は一本建

豐田新商相等の肚決る

【東京五日同盟】國家總動員法第十八條に基く産業團體統制法の發動に關しては、同法の實施か、愛に決定した經濟新體制確立要綱に基く重要産業機構の編成昔へに指導的な役割を爲すものなるにかんがみ、之が急速實施を爲すべく、豫て企劃院、商工省で聯絡の上、成案を得べく努めてゐたが、兩官廳の事務當局が對立して同會機構を論議、石炭等の各産業別に發動する事を主張してゐた小林商相、星野企劃院總裁の點時に依り、商工省並に企劃院兩事務當局は、我が亞新秩序說と新伊太利の理想との共通性が我外相の訪伊と云ふ未曾有の機會に於て、更に確認された事はこゝに言ふまでもあるまい、東亞及び歐洲新秩序は今後とても多くの狂瀾曲折をまぬかれないのは當然である

なほ松岡外相は、カトリック教界の元首たる法皇と會見した、此の會見は第公式のものと謂はれるが、東亞の新秩序とカトリック教界との關係につき意見の交換を行ぐるのは當然である

産業團體統制は一本建

豐田新商相等の肚決る

【東京五日同盟】豐田商相、鈴木總裁は右に關する兩官廳、事務當局等の意見を聽取する事になつたが、昨年末及び讓渡の休會明け前に兩氏を總る內閣改造が流布されたが、實現を見ずに今日に及んだ譯で退陣は時期の問題であつた、商相の後任としては財界人から拔く方針を一擧し、商相は陸海兩相の意向をも尊した結果、戰時經濟政策の强化を目標として軍部から銓衡することになつたのである

新聞報國使命達成へ

大新聞首腦者集り 目治機關結成計る

【東京五日同盟】切迫せる事態に於て開かれる大時局に對處し、政府の國策遂行に協力し、新聞報國の使命達成のため、發て我新聞界有力者間に新聞自治的機關結成の議があつたが、今日田中（中外）尾形（朝日）高石（東日）正力（讀賣）古野（同盟）の五氏が世話人となり、五日午前ニューグランド・ホテルに於て同機關結成懇談會を開き、各國有力新聞、雜誌社卅四名出席の下に、種々意見の交換を行つた結果、先づ具體案作成の爲九名の小委員會を設ける事に決定、第一回小委員會は八日午後開催する

海軍次官後任 澤本中將に決

【東京五日同盟】豐田海軍次官は今回組に就任決定したので、其後任は開支方面海軍最高指揮官澤本頼雄中將に決定、四日附正式發令之に伴ひ開支海軍次官は新見榮一任は新見榮一

比島國防費に 米が五千萬弗支出

【ワシントン五日同盟】米陸海軍、內務三省は、比國防計劃の爲めに、五千万ドルを支出するに同意し、當局より非公式に發表された

二人草三郎

（七十八）

千兩箱 その二（六）

小川 雅 作 小 畑 雄 畫

（自分が追はれてゐるのではなかつた——）

餘りにも手の廻るのが早過ぎたと、黑雲のやうに心に纏まつてゐた疑ひはこれで釋然と霧散し、ほつと一安心する思ひはしたが、それにしても鼠小僧は出來ない草三郎だ、白藏を狙ふ御用のその十手が、いつ同じ顏の自分の方へ飛んで來るか！

これは、飛んでもない危險に身を曝してゐる譯で——。

それと云ふのは——

（俺のしてゐる事の半分はいはば手前がやつてゐるのも同じ事だぞ！）

と、いつぞや白藏の云つたあの恐ろしい言葉が事實を眼の前にはつきりそれと彫りて、草三郎、今は出るも退くも出來ない立場になつた。

ちまはう」

「が、合點でござんす」

多吉と、最初から付き從つてゐた手の者が一人、それに今來た二人と、四人になつた黑門町の一家。

「ま、ま、待つてゐろよ、清太！ いま、手前の讐は討つてやるぞ！」

新手の加はつた事と、友達の報合戰といふ氣持が四人を緊張させて、必死の氣組に、堰と勝負してゐた四邊の空氣に生氣がそつて、一面に殺氣が漲つた。

「それッ！ ぬかるなよッ」

多吉の下知して叫ぶ聲に、だつと五つの影が、月下に入り亂れた——突として捲き起つた龍卷のやうに……

（あッ、自分と同じ顏の人間が今度は危ないらしい——）

咄嗟には、どうしてよいのか、思案もつかず、暗の木陰にちつと息を殺して、身を固めて立竦むより仕方がない……

ヂ、ヂ、ヂ、ヂ——

地蟲が、足下で、明日死ぬ命をか細く鳴いてゐる。

邊の空氣を白藏も、黑門

その寒感が——怖い恐ろしい白藏が亡びる、といふ歡びを感じさせるその反面には、何か、自分の半身がやられるといふやうな傷ましさの入り混つた、變にこんがらかつ

物動暫定實施計畫原案可決

企劃院總裁 國民の協力求む

重點は鐵鑛增產

【東京五日同盟】昭和十六年度第一四半期物資動員暫定實施計畫は、四日の定例閣議に附議原案通り可決、星野企劃院總裁は右に關して國民の協力を求むる旨の談話を發表した、而して基本物動計畫については、目下鋭意これが編成を急ぎつゝあり、政府としては四月末の閣議に附議したい方針である

今次第一四半期計畫の特徴は、昨年の三國同盟締結後に改訂された昨年度物動計畫の基本方針を、その德義的發揚に重點を置き、右の目的を達せんが爲め製鐵、製鋼、鑛業の飛躍的增產、輸送、物價、勞務、資金、貿易、生産、配給、消費、金融、財政、國民生活の諸方面に亘る綜合的計畫を樹立し、特に鐵鑛增產に關する

不正商法に光る役人の眼
その後ますます峻嚴！
和近し市民の生活苦

調査は徹底的

試みに都會人の生活者の五人家族に就いて、その最小限度の生活費を調べて見ると、米、豆、パタタ（砂糖、アローパン）一八〇〇、七五〇、セボーラ（三キロ）一〇〇、バンニヤ（五キロ）二〇〇、オレオ（三キロ）七〇、炭、電燈、水道、三八〇、家賃、一〇〇〇、衣服、一〇〇〇、醫藥費、六〇〇、交通、不時支出、三〇〇、合計、四五八〇

右の數字は勿論最小限度のものであるが、人間生まる以上新聞、雜誌等の修養費、或る程度の娯樂費、子供の教育費更に万一に備へたとへ僅な貯蓄も必要である、處が都會人の收入はその半にも過ぎないのが現在の狀態である、而その上に物價は天井知らずの暴騰ぶりを示し、益々市民の生活に不安を與へてゐる、その原因は種々あらうが從來の無統制から必要以上に暴利を貪ってゐる惡德商人の不正行爲もその理由の一つとされ、この度當局の峻嚴な調査となったものである、既報の如く各戸口の物品價格調査統制を行ひつゝあるが、近く標準價格が定められて、收入と支出の不均衡から日々の生活に悩む一般市民の不安も幾分緩和される事であらう

旅行者の登録
愈よ今日から

先般大統領の署名を了した外國人登録令は、昨日から愈々伯國に一時滞在者の資格を以て入國中の外國人は、外國人登録課に登録せねばならぬ事になった、同登録課に所定の書類を提出した者には、特別手帳が交附される筈であるが、登録を怠った者には、嚴重な罰則に處せられる

雜記帳

今回の伯國外務省の異動令に依り、上海駐劄伯國總領事館員エイトール・ダ・シルヴェイラ・カルネイロ氏は、神戸駐在伯國總領事館に轉任を命ぜられた

◎

去月廿二日以來リオ市に滞在中だった聞來市議會調査團一行は、四日コンドル機で空路北伯ベレン市へ向つた

◎

表面實直を裝ひ、陰で詐欺を高利貸を働き「民衆の公敵」と綽名されてゐたアニエロ・マルッセリと云ふ大ファゼンデイロは、この度所得稅不正申告の廉で千九百六十七コントスの莫大な罰金を課せられた

◎

ポルト・アレグレ市からの報告に依れば、今次歐洲大戰勃發以來同港に碇泊中である獨逸貨物船モンテビデオに對し伯國官憲は乘組員のサボタージュを避ける爲との理由で、これを抑留處分に附した

◎

神がゝりの御託宣を並べたて、所嫌はず歩き廻っては謎の解らぬ文字を羅列した紙をベタ〳〵貼ったり、夫不在の妻君をその家に訪問して猥な言辞を弄してゐた自稱占師井澤は、この程警察署に擧げられた

◎

去る三日聖市で封切された護國の鐘「杉野兵曹長の妻」は大入客止めの盛況ぶりで、入場者約四千五百といはれ、平田君の邦画興業は初めて以來の大入りだった、御同映画は近郊濟み次第、延長線を振出しに各線を巡映する

彩管使節
大橋畫伯夫妻
伯國風物をカンバスに使命を果して近く退聖

彩管使節として來伯した大橋畫伯は聖市に於ける展覽會は郷土的な好評を拍し、その重厚な筆致は血の滲むやうな畫伯の拔ずる研究、郵觸の賜であると感謝を浴びたが、其の異地詩趣のため各地で默安展を開くなど使命を果し、其後聖市にあって畫伯夫妻は伯國風物をその獨特の彩管を揮ってカンバスに納めつゝあったが大體完成に至ったので、こゝ數日にして退聖リオへ向ふ筈であるが畫伯は次の姫くに歓る伯國は思ったより良い所で特に聖市は妻の故郷でもあり、同胞も亟切で聖市を離れたくない樣になりました、聖市の風物も大體カンバスに納めました、それで一先づ退聖するつもりです

驚いたフェーラ商人
トマテはキロ當り一二錢以下！
昨朝お役人のきついお達し

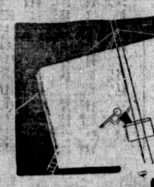
市民生活必需品の價格調査に對する當局の眼はフェーラにも光ってゐる、昨朝トレーゼ・デ・マイオ街及び他の一ケ所のフェーラに役人が突然現れフェーラ商人が二ミル五百から八百に賣ってゐたトマテを"今日から二ミル以上は絶對に賣り成らぬ"ときついお達し、これには商人も驚いた、昨朝トマテは箱五九ミルから七〇ミルだが、キロ當り二ミルでは商人は大分足が出る、この措置は箱五〇ミル台に統制される前觸れと解釋される、近日中にトマテばかりでなく他の蔬菜類にも、魚肉等にもそれ相當の標準價が定められるだらうと、某組合販賣係りでは語ってゐる

一家族中妻女・子供
三人一時に死亡！
醫師も診斷に苦しむ

奇病

北巴ノーバ・パダンチェ驛カフエザール植民地小島光明氏家族中四三才の妻女と十三才に八才の子供二人は、半素頭蓋で樂一つ飲んだことも無かったが、何うした訳か醫師も診斷に苦しむ奇病に取付かれ、手當ての施し樣なく三日間毎日一人宛死亡した、三人共肺臓と肝臓は著しく肥大した他に異狀はなかった

新しき土を拓く人々 (24)
水野龍の渡伯 (二)
南樹



日露戰爭は種々な意味に於て、日本民族に一轉機を與へたと云ってよい。

日露間の講和條約が締結されたが、未だ世間一般人の凱旋もすまない内に、既に海外發展問題が持ち上り、新聞紙上の話題になった。東洋汽船會社の南米航路開拓の發表など、其の一つであった。

それは、明治三十八年十二月二十四日（或は二十三日？）墨國船グレンファーグ號をチャーターして、其の第一回航路を開始すると云ふのである。水野龍は此の船を利用して便乘した。北米經由ヨーロッパ廻りを取らなかったのは、水野にペルー移民の成績を調査して、ブラジル移民の參考に仕度いと云ふ考へもあったらうが、アルゼンチンに對する移民契約の下心もあったからであらう。

グレンファーグ號に四人の一等船客が乘って居た。本航路の實地調査に行く東洋汽船の取締役であったか、團長であったか忘れてしまったが會社では淺野の姻戚である白石などと同格に重要な椅子を占めて居る弁護法學士、山脇勇三郎の命に依ってペルー國アンコンの漁業地に行く岩永安國もう一人法學士で丈のすらりとした眼色の淺黒い男で、これもペルーの鑛山とか貿易とかの調査に行く鈴木の見出せない人。それからブラジル珈琲園移民契約の目的で行く水野龍、これであった。三等客としてペルーに行く外國語學校出身の田中某と云ふ妙齢に淋し感じのする小男とチリーの農業視察を仕樣と云ふ私と二人であった。

どうも記錄などの當てにならないことに、此の田中のことである。彼は明治三十八年西曆紀元第一番で、在學中何時も特待生として通した秀才である。所が外國語學校をつて見ても、明治三十八年第一番客として乘って

Redação — Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4370
Caixa Postal, H
Director Masahiro Sames

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero de dia ... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — DOMINGO 6 de ABRIL de 1941 — DIARIO No 2428

São Paulo vae commemorar festivamente o anniversario do Presidente Vargas

O sr. Interventor dr. Adhemar de Barros, em sessão solenne a realizar-se no Theatro Municipal, pronunciará um discurso allusivo á data

Commemorando o anniversario do Presidente Getulio Vargas, a transcorrer no proximo dia 19, realizar-se-ão nesta capital e em todo o Estado varias solennidades que constituirão notavel demonstração do carinho com que São Paulo pela umanidade de suas classes, acompanha o esforço patriotico do Chefe da Nação, em prol da grandeza do Brasil.

Entre outras o governo do Estado promoverá por intermedio do Departamento Estadual de Imprensa e Propaganda ás seguintes solennidades.

Sabbado, dia 19 — A's 10 horas — Missa em acção de graças, na Basilica de São Bento com a presença das altas autoridades, representantes de classe, etc;

A's 16 horas — Grande desfile na avenida São João, com o concurso dos alunos das escolas secundarias e superiores, entidades esportivas, etc.;

A's 21 horas — Sessão Solenne no Theatro Municipal, aberta com um discurso do sr. Interventor Federal dr. Adhemar de Barros.

Em seguida o Ministro Custavo Capanema pronunciará uma conferencia sobre a personalidade de Presidente Getulio Vargas. Tomarão parte nessa sessão, executando numeros de musica e canto a banda de musica da Força Policial e os orpheons das Escolas Normaes da capital.

O governo de São Paulo redendo especial homenagem ao Presidente da Republica fará inaugurar nesse dia 16 grupos escolares no interior do Estado, um dos quaes o de Pariquera-Assú é dos maiores que já foram construidos no hinterland paulista e receberá a denominação de grupo escolar Presidente Vargas. Os outros quinze novos estabelecimentos de ensino primario estão localizados em Tabatinga, Itaporanga, Alfredo Guedes, Xiririca, Registro, Guararema, Jambeiro, Campo Largo, Areopolis, Piquete, Vargem Grande, Pilar, Sarta Barbara, Ojeo e Una.

O sr. Interventor dr. Adhemar de Barros determinou, ainda aos Prefeitos Municipaes de todo o Estado que realizem no dia 19, em seus municipios, solennidades civicas commemorativas da data natalicia do Presidente Getulio Vargas, no decorrer das quaes será focalizada a obra benemerita que s.exc. vem realizando á frente dos destinos do paiz.

O sr. Secretaria da Educação, de accôrdo com as instrucções recebidas do Chefe do Governo do Estado já expediu determinações no sentido de que em todas as unidades escolares do Estado, sejam feitas palestra em torno da personalidade e do governo do Chefe da Nação.

Taxa de emolumentos consulares

RIO, 3 — (Pelo telephone) — O Presidente da Republica assignou decreto-lei reduzindo a mil réis ouro a taxa de emolumentos consulares a ser cobrada pela legalização da primeira via dos certificados de exportação de mercadorias de producção nacional para portos estrangeiros em transito por territorio estrangeiro.

Resolução da Directoria do Serviço de Trasito

Por portaria hontem baixada pelo dr. Aguinaldo de Góes, director do Serviço de Transito a partir do dia 1.º de maio proximo somente poderão estacionar, nos pontos destinados a carros de aluguel, localizados nas proximidades das estações de estradas de ferro automoveis dos typos 1938, 1939, 1940 e 1941, de qualquer marca e que estejam em perfeito estado de conservação.

Estabelece a mesma medida que os vehiculos que estiverem em desacordo com tal exigencias serão findo aquelle prazo retirados dos referidos pontos de estacionamento, podendo os respectivos motoristas requerer desde já, a transferencia para outros pontos já existentes nas ruas e praças de São Paulo.

UM LIVRO SOBRE OS JARDINS JAPONEZES

O EXTRAORDINARIO EXITO QUE VEM ALCANÇANDO A OBRA DO SILVICULTOR — TSUYOSHI TAMURA

RIO, 3 (Via Vasp) — O notavel silvicultor nipponico Tsuyoshi Tamura, acaba de dar á publicidade o seu novo livro intitulado:

«Jardim Japonais, ses origines et caracteres des jins e plants», obra que alcançou extraordinario exito, já se encontrando traduzida em varios idiomas.

O prefacio do livro é da autoria do conde Aysek Kabayama que, emitindo sua valiosa opinião ao importante trabalho do renomado escriptor assim se expressou:

«No Japão, o jardim faz parte integrante da casa e sua influencia está intimamente ligada á vida quotidiana dos habitantes. A arte de fazer um jardim é praticada correntemente; é verdadeiramente uma arte, comparavel a da pintura paizagistica japoneza. O japonez ama a natureza. Dahi considerar o jardim como parte integrante de sua casa.

O novo livro de Tamura esta sendo conhecido no Brasil, graças aos auspicios da Kokusai Bunka Shinkokai (Sociedade para Desenvolvimento das Relações Culturaes internacionaes). Sua tradocção foi feita pelo conhecido escritor francez Luis Ohl.

Trata-se de um volume de 280 paginas em formato grande, ricamente impresso e com maravilhosas illustrações e optima leitura que deleita o espirito.

Homenagem ao Ministro Mendonça Lima

RIO 3 (Pelo telephone) — No dia 15 de abril corrente será offerecido ao general Mendonça Lima, ministro Viação pelos seus amigos, um banquete por motivo do seu anniversario natalicio.

A commissão promotora é composta dos srs. Herbert Moses, Manuel Fernandes Guimarães, Edmundo M. Jordão, Henrique Gigante, Juvenal M. Neiro, José Nascimento Brito e prof. Aristo Berna.

Convidado para visitar a America do Norte o chefe do Estado Maior da Marinha Brasileira

RIO, 4 (Via Vasp) — Telegrammas procedentes de Washington, aqui divulgados noticiaram que o Departamento da Marinha dos Estados Unidos convidara os commandantes das marinhas de guerra latino-americanas a visitarem, no proximo mez de maio aquella poderosa nação afim de apreciarem, de visu as suas actividades navaes e o gigantesco programma de rearmamento nas costas do Atlantico e do Pacifico.

Segundo apuramos no Ministerio da Marinha, a nossa Armada recebeu realmente, o convite para esse visita com objectivos semelhantes á duas effectuadas pelos chefes dos estados maiores dos exercitos sul americanos aos estabelecimentos e installações das fonças de terra dos Estados Unios.

Ao que constava no Ministerio da Marinha representará o Brasil nessa visita o almirante Machado de Castro e Silva, chefe di estado maior da Armada.

CONSELHO NACIONAL DE MIMAS E METALLURGIA

RIO, 3 (Pelo telephone) — Sob a presidencia do sr. Ministro da Viação reuniu-se o Conselho Nacional de Minas e Metallurgica.

Na ordem do dia foram lidos, discutidos e approvados, os pareceres emittidos nos processo abaixo:

Aviso do Ministerio da Agricultura, com o processo referente á resolução do Conselho Federal do Commercio Exterior, suggerindo entre outras medidas, a de promover o Governo por seu orgão competente, o Departamento Nacional de Producção Mineral, o estudo dos processos mais convenientes sob o ponto de vista technico e economico, par ser feita no paiz a metallurgica de nickel, mediante a utilização dos nossos minerios.

Foi resolvido restituir o processo, opinando pela concessão do credito de 600.000$000 para as despezas com os trabalhos propostos.

O officio da Secretaria Geral do Conselho de Segurança Nacional, pedindo esclarecimentos sobre o consumo annual do nickel, foi mandado responder que a quantidade total do nickel, que sob varias formas se torna necessaria para a satisfação das exigencias da metallurgia, em geral e da grande siderurgia a se estabelecer no paiz, em particular, deverá attingir a cerca de 500 toneladas annuaes.

O REGISTO DE ESTRANGEIROS

Entrou hontem em execução o registo de estrangeiros em caracter temporario

Os jornalista que trabalham junto á Superintendencia de Ordem Politica e Social reuniram-se, hontem á tarde no gabinete do dr. Pinto Castro delegado de Estrangeiros para ouvir explanação das medidas que serão postas em pratica a partir de hoje, com a execução do decreto-lei 3.082 de 28-2-41.

«Esse decreto-lei torna obrigatorio o registo de estrangeiros entrados no paiz em caracter «temporario» — expõe o dr. Pinto de Castro — e estabelece penalidades pessoaes aos infractores, motivo que nos leva a fazer com que tenha a maior divulgação possivel a mencionada lei que hoje entra em execução em todo o paiz.

Os estrangeiros «temporarios» poderão permanecer no pais 180 dias e em nosso Estado seu registo deverá ser feito nesta delegacia.

Elles deverão apresentar nesta delegacia a traducção do seu passaporte e serão identificados, expedindo-se-lhe uma carteira de identidade.

Terremos dactylographos especiaes para esse serviço e mesmo interpretes. O serviço de identificação será feito por enquanto na Gabinete de Investigações até effectuarmos a installações da photographia nesta Superintendencia.

Esses estrangeiros deverão apresentar tambem um attestado de residencia do delegado do districto desta capital ou da localidade onde se tenham fixado provisoriamente.

Identificados e de posse de sua carteira identidade, poderão permanecer no pais os 180 dias da lei.

De hoje em diante os estrangeiros «temporario» que desembarcarem em Santos terão o prazo de 8 dias para requerer seu registo, e os que já se acham no paiz tem o prazo de 30 dias.

O presente decreto-lei se refere unicamente aos estrangeiros em caracter temporario e não aos que já estão radicados no paiz e que requereram seu registo de caracter permanente.

Em nosso Estado, até o começo deste anno já haviam sido registados pouco mais de 300.000 estrangeiros de caracter «permanente», estando, pois regularisados cerca de um terço dos estrangeiros aqui domiciliados. O serviço tende a se desdobrar para se obter o egisto dos restantes».

Finalisando sua exposição odr. Pinto de Castro entregou aos reportores uma copia do decreto-lei 3.082, cujo texto reproduzimos abaixo para melhor orientação dos nossos leitores.

«O Presidente da Republica, usando da attribuição que lhe confere o artigo 180 da Constituição, decreta:

Art. 1.º — Ficam obrigados a registo todos os estrangiros que entraram ou entrem no paiz na categoria de «temporario».

Art. 2.º — O registo far-se-á no Serviço de Registo de Estrangeiros da juristigação onde registir o estrangeiro. Nos Estrados e no Territorio no Acre o registo deve effectuar-se nas respectivas capitaes.

Paragrapho unico — O registo será processado summariamente mediante identificação e apresentação dos documentos do paiz de origem.

Art. 3.º — A obrigação do registo a que se refere esta lei estende-se aos «temporarios» que já tenham requerito permanencia e ainda não a tenham obtido.

Art. 4.º — Os estrangeiros que estiverem residindo no paiz na data da publicação da presente lei, têm o prazo de sessenta dias a contar da sua vigencia, para cumprimento da obrigação imposta pelo art. 1.º. Os «temporarios» que vieram a entrar posteriormente terão para o mesmo fim o prazo de oito dias, contados da data do desembarque.

Art. 5.º — O «temporario» com prazo esgotados não poderá mudar de residencia sem autolisação previa do Serviço de Registo de Estrangeiros da jurisdição onde estiver residindo, sob pena de multa de rs. 200$000 a rs. 500$000, e prisão á ordem do Ministro da justiça.

Paragrapho unico — Para autorisação de mudança de residencia nos termos do presente artigo, será cobrada a taxa de rs. 50$000, em sello de immigração.

Art. 6.º — Os estrangeiros que transferirem residencia para a circumscripção de outro Serviço, apresentar-se-ão, dentro de oito dias ao Serviço jurisdicção no lugar de nova residencia, afim de ser apposto na carteira o «visto» respectivo, sob a mesma pena do artigo anterior.

No Serviço serão feitas as annotações necessarias.

Art. 7.º — Será cobrada a taxa de rs. 200$000 pelo registo de que trata a presente lei.

Art. 8.º — As taxas referidas neste decreto-lei serão cobrados em sello de immigração, sendo nos Estados em qualquer caso, a metade em estampilhas estaduaes.

Art. 9.º — Os estrangeiros que não registarem no forma desta lei ou de qualquer modo procurarem fraudar o registo ficam sujeitos á multar de de rs. 500$000 a rs. 5.000$000, imposta pela autoridade encarregada do revisto e prisão á ordem do Ministro da Justiça.

Art. 10.º — No processamento das infracções previstas nesta lei serão observadas no que souber, as normas estabelecidas no decrto n. 3.010 de 20 de Agosto de 1938.

Art. 11.º — Fica approvado o modelo annexo da carteira de identidade para estrangeiros «temporario» que será expedida pelos Serviço de Registo de Estrangeiros de todo o paiz.

Art. 12.º — O Mindistro da Justiça resolverá os casos omissos e as duvidas suscitadas.

Art. 13.º — Esta lei entra em vigor quinze a trinta dias após a sua publicação rspectivamente para o Districto Federal e os Estados.

文と藝

恋と雲と

バウルー　小田切劍

夕雲の朱くなびける牧蹄を獨り行きつゝ物思ふ身は

ソロカバナの奥に住める妹に

日雲の人目にやけて輝ける西のはたてに恋める味はや

離是なき子等には汝を亡き母に似て優しき人と我の教へつ

命生きて再び妻をめとるべき思ひはかつて我もたざりし

朝霧　オリンピヤ　中井はじめ

牛ゆけばまつはり動く霧日し日射し漂々と牧のひと時

深霧のはひよる背戸の鎖しめり晨起の要が君び出でにけり

雑詠　オンダ・ペルテ　尾目恵昭

風もなき朝は霧のしづもりて背戸川の音眞近く聞ゆ

陽の未だ高く上らぬ草原に蜜牛一つ草長みてをり

秋たけて風さやかなる森山の小道を往けばしるき苦の香

○

▲カフエランディヤ　夢城

己が腹さく醫師の手術はたがはず鏡に眼閉ぢ魂身想ふ

しかすがに盲腸炎手術は終りたれ夢の如くに我が運ぼるゝ

▲ガルサ　山下彌惠子

人怖ぬ雛や柔かき嘴に餌をついばみおぼつかなげに

▲オランタムース　卜野紅陽

夜来の雨はれ渡りたる窓下にコスモスの花咲き誇れけり

▲アバレー　鹿児城

雨やみて落葉の匂ふ山道を行けば咲き百舌鳥の聲聞こゆ

◆モナ　農文士

通り雨ありゝ濃き柿の實の色づき初めて早冠くなりぬ

▲聖市　靜．路

雲霧の低く垂れたる街路に大飛行機の翼如現る

▲トレスパラス　三寿

我が窓に肩きおくられ五大文字窓に意と心たのまる

（松陰外相に）

▲マルチノポリス　緒方　新朝

獨り身をすでに淋しとをとなさび夜くだつ頃をい寝がてに

▲ガルサ　仲田　安行

終日を雨降りたれど夜は晴れて十五夜月の明く照らせり

▲オリンピヤ　沼島　志朗

刈り終へし小田は俄に廣々ところ〳〵に稲の水ゆらぐ

▲ベラスタ　乙村　政雄

窓邊よりさし込む月の明るさに暫しゝ寝ぎ空を仰ぎぬ

◆ポンペイア　山本　操

ひそやかに雨音きこゆる窓辺にしに闇の川邊に螢飛ぶ見ゆ

▲ジナブロ　菊花　道希

深夜よりいたく吹きくる風の音に稲を想ひて寝に眠れず

▲ガルサ　山下　機明

風の音やゝ靜まればこはろぎの啼きて秋の夜さむ〳〵と更く

▲マリヤ　藤眠　虎峨

仔馬より手綱にかけて育てにし駑馬は遂に死にゆきにけり

▲ウエラクルース　山田　平登

移り来て五年過ぎしが吾が物と名づくるものなく心さびしゑ

▲ルウサンビーラ　葛尾　一

朝風の涼しき畑に我が立ちて瓜の小花を數へつゝをり

▲サンタクルース　○○生

久々に降りにし雨を言ひ出でゝ酒を飲まむと父言ひ給ふ

（以下　十三日分の除分）

▲ポンペーア　淺谷　生

夕暮に咲く薔薇の花そよ風に静かに搖れつゝ白くこぼるゝ

▲バイス　宮崎　稔

池の邊に坐りて薔薇の花瓣を水に投げつつ眺ぶくを待つ

▲夕月

わが胸に眠る吾子の子を抱きて言葉はあらず只歩み行く

▲バイス　宮崎どくろ

カアテンに薄く映れる我の影我は見つめつゝ寝にけるかな

▲落田　實

わが生活繁ならざれば學業を中途に吾子は家事にいそしむ

▲ガルサ　白洋

ひたぶるに乳吸ふ吾子を見まもれる母の姿を優しとぞ見つ

▲オランペロ　黒飛　悲人

何時の日に置き忘れしか人形の木臨にまろび雨に濡れをり

▲ガルサ　大平　忠男

日重ねて早つゝけば稲の穂の垂れたるまゝに色づきにけり

▲リベロポリス　山本　千秋

山々の靜かに暮る．夕闇を一人家路を我が辿りをり

▲ガワラキン　裸人　生

駿かき食物を手にして憩ひをり新體制の祖國のさまを

◇今回は、尻より伯國歌壇に民文學によつて寒心斯道を求その名あり、又祖國短歌誌に究されてゐる小田切氏が詠草を寄せられた。練達の手法は後進の參考であらう。

◇

○来る四月十三日（第二日曜日）に聖市短歌會では日本聖に均斉を行ふ會に発表を見た

詩

南十字星

佐藤　邦夫

波あらき北の島より
かぜ薫る南の島へ
漕ぎよする船のり人の
夜を覗に日に夜をつぎ
すでにして十有余日。
わが岸は彼の彼方に
雲遠きわ手は届かず。
かへり見る嘶き波間に
鉤なる北斗は沈み
新たなる夜の指標は
南の空にかかれり。
氣高くも十字の星は
その背金鋼の翼
映えゝごと、おごそかに
不滅の光たたえつ
百々千年、人は移れど
ゆるぎなき南の星座。
いにしへの賢者の胸に
またたきし生命の光り
仰ぎみる船人の胸に
あやしくも通ひ來るかな。
新らしき希望にもえて
船人の唄や高らに
追風は帆にはらみ
椰子の葉のさ鳴りも新し。

疲れ

濱津　まさを

ユーカリに
入陽しらん〳〵
疲れある
顔の五人
遠き麓鄙
口きくも氣うとや
鐵も
車たや

から〳〵と
井戸の櫻燈普
糸瓜棚に
月がしはらーや。

〝彗星は〟

彗星は
一月三十一日の空
孤獨な人間には
もつてこいの話相手

彗星は
再び會える
スバラシい戀人。

ARTHUR VIANNA & CIA. LTDA.
Rua Florencio de Abreu 491 (antigo 77) — S. PAULO
— Caixa Postal, 3520 — Telephones 2-7101, 2-7102 e 2-7103 —
經濟肥料としての智利硝石加里には
一噸當り 150キロの窒素成分と 160キロの加里成分があります。
之を普通の智利硝石から計算すれば窒素成分 150キロ.....716$100
又硫酸加里から計算すれば 加里成分 160キロ.....+666$300
1;382$400
智利硝石加里は同量の成分があつて..... -910$000
實に割一歩が農家の利益となり、之に仍つて700キロ 472$400
の過燐酸が買へますから配合肥料をする場合は驚く程經濟的です
◆肥料購入の方には特別の便宜を計ります
◆施肥其他の農業に就いての御質問は弊商會内
平野實殿宛にお願ひ致します　パンフレット各種無料配布
アルツール・ヴイアンナ商會
聖市フロレンシオ・デ・アブレウ街四九一（舊七七）
電話 三五二〇 郵函 二〇一七二

ADUBO GUERREIRO
Com. de Agricultura, Imigração e Colonização
中央事務所: São Paulo
R. Libero Badaró, 39
(CAIC)
電報: CAIC
電話: 2-3105, 支線 46
重役 ANTONIO PRADO JR. HEITOR FREIRE DE CARVALHO. EDMUNDO NAVARRO DE ANDRADE
ゲレイロ肥料は農耕地に必須缺く可からざる優秀なる全要素を含有し、更に六一%以上の有機質を含み、土地に容易に融合して腐植土となる。有機質なくして沃土なく、化學肥料の施肥には支障を來す。我肥料に就は左記世界的權威ある諸大家が書證されたり。
亞細帶地質研究家ドトール、パウロ・ハジヌレーロ（D. Paulo Vagelero）合理施肥技術大家カンピナス農事試驗場技師ドトール、テオドレッド・ド・カマルゴ（Dr. Teodureto de Camargo）
前聯邦農務局農業化學研究部長ドトール マリオ・サライーバ（Dr Mario Saraiva）

醤油「ミツワ」醸造元
醸造所 ノロエステ線グワヰサラ驛 郵函三番
佐鶴